



# 大淀中だより

学校教育目標 「自主・自律の態度と共生の心を育成する」

京都市立大淀中学校

学校だより⑫

令和6年(2024)3月19日

校長 川上 貴由

## 祝

## 第49回 卒業証書授与式

3月15日(金)、暖かな春の日差しの中、令和5年度大淀中学校第49回卒業証書授与式を挙行了いたしました。



淀連合自治会 西庄会

長様、淀南連合自治会 野地会長様をはじめ多くのご来賓の方々に参列いただき、厳かで温かな雰囲気の中での式となりました。皆様には、3年生代表生徒による答辞をご紹介して、卒業証書授与式の報告とさせていただきます。

### ♪♪ 答 辞 ♪♪

淀の河津桜は、もう満開を迎え、春の陽気が感じられるようになりました。この暖かな日に、3年生104人は大淀中学校を旅立ちます。

中学校の3年間は、あっという間だったように思われます。

1年生、この中学校に入学し「新たな生活が始まる!」と意気込んでいた矢先、そこに待ち受けていたのは「新型コロナウイルス」でした。部活動は思うようにできず、合唱コンクールは中止になり、体育大会は学年別で行われるなど、思い描いていた中学校生活とは全く異なるものでしたね。そのせいもあってか、当時の僕たちは「一生懸命がかっこいいこと」や「あたたかい学年を創ることの大切さ」を、まだ知りませんでした。

2年生、クラスの団結を発揮できた1年でした。合唱コンクールや体育大会を通して「一生懸命がかっこいいこと」を、少しずつ感じていきました。秋になり、代替わりの季節が訪れ、いよいよ僕たちが学校の中心となりました。ここから生まれた「中心であること」への自覚が僕たちを変化させたのかもしれません。

3年生、この学年の「色」を輝かすことのできた1年間でした。修学旅行でのレクリエーションで、練習を重ねたダンスを披露してくれたり、会場に笑い声を響かせてくれたりした「仲間」。それに全力で応え、盛り上げ、たくさん笑った「仲間」。学年が1つになっていることを実感しました。

また、「最後」という言葉が付いた学校行事、体育大会や合唱コンクールでは、3年生の「本気」を見せることができました。これまで、みんなで手を取り合い協力しあって行事を成功させたという経験が少なかった僕たちにとって、本気で取り組むことは難しいことでした。しかし、「最後」という言葉が与えた力は大きく、みんなが1つの目標に向かって一生懸命に頑張りました。困難に直面したときも、「仲間」とともに乗り越えました。僕たちは、こうした行事を通して「一生懸命が一番かっこいいこと」を、知らないうちに学んでいたのかもしれません。

もう1つ、この学年で忘れてはいけないことがあります。それは、評議委員や生徒会本部の人が、学年のみんなに心の丈を語っていたことです。僕たちがまだ幼かった1年生や2年生のとき、この学年はみんなが違う方向を向きバラバラでした。しかし、2年の後半になり修学旅行や卒業が近づくにつれ「このままではいやだ」「この学年の本気を見せたい」といった思いが、評議委員である僕たちの中に芽生えました。この学年の良いところは「やるときは本気でやれる」こと、「みんなで1つになれば計り知れない力がある」ことでした。それを引き出すために、何が必要か、何を伝えればいいのか、評議委員の中で話し合いました。そうして重ねた学年集会。想いがあふれて涙を流しながらこの学年へ語ってくれた人もいましたね。彼らの努力と、学年みんなの支えて、この学年の「あたたかさ」が生まれたこと、これは誰にも譲れない宝物です。

さて、後輩のみんな、ここまでともに思い出を創ってくれてありがとう。僕たちの思い出には、あなたたちがいました。部活で仲良くしてくれたこと、学校行事を全力で盛りあげてくれたこと、どんなことにも全力で元気な姿を見せてくれたこと…どれもかけがえのない思い出です。本当にありがとう。僕たち3年生が迷惑をかけたことがあったかもしれないけど「一生懸命が一番かっこいいこと」を、「あたたかい学年を創ることの大切さ」を、みんなに語ることができたかなと思っています。

そんな後輩のみなさんに、1つだけ伝えたいことがあります。それは一人ひとりが自分の学年のみんなを好きになれるような学年を創ってほしいということです。僕は、この学年のみんなが大好きです。まだ離れたくないです。卒業を迎えた今、3年生がみんな思っていることでしょう。学

年のみんなが心からそう思えるような、あたたかい学年を創ってください。1つになって、一生懸命に頑張れる学年を創ってください。学年への想いがあふれて、涙を流せる学年を創ってください。応援しています。

教職員のみなさん、3年間私たちをご指導いただき、ありがとうございました。みなさんとともに過ごした3年間は本当に幸せでした。たくさん褒められたこと、ともに笑いあったこと、そのすべてが思い出として刻まれています。僕たちのことを大切に想ってここまで育て、支えてくださりありがとうございました。

さらに僕たちを大切に育ててくれた家族のみんな、今までありがとう。この15年間いろいろなことがありましたね。叱られたこともありました。それに嫌な顔をしてしまったこともあった。自分勝手にふるまったり反抗したりしてしまったこともあった。しかし、僕たちは知っています。あなたたちが僕たちのことを心から愛してくれていることを。何より大切に想ってくれていることを。普段は恥ずかしくて言えないけれど、僕たちは家族のみんなが大好きです。これからも、迷惑をかけてしまうことがあるかもしれないけれど、よろしくお願いします。

そして、3年生のみんな。今まで本当にありがとう。ここまで、僕たちは本当によくやってきたよ。たくさん笑って、たくさん泣いて、たくさん喧嘩して、たくさん語り合って…この3年間いろいろあったけれど、思い返せば思い返すほど楽しかった。そして、評議委員がこれまで繰り返してきた「あたたかい学年」を、僕たちは創りあげられた。「一生懸命が一番カッコいい」ことを証明できた。そんな姿を、後輩や先生に背中ではなした。そんな3年生が僕は大好きです。本当は、もっともっと、みんなと一緒にいたい。まだまだ離れたくない。けれど、今日でみんなお別れです。昨日まで当たり前だった日常が明日にはもうありません。ですが、僕たちの中に残された思い出は、僕たちの心に刻まれたかけがえのない宝物です。創りあげた僕たちの姿は、いつまでも変わらない。だから、どうかカッコいい僕たちのままで。また逢う日まで、どうか元気にいてください。

星の数ほどたくさんの方がいるこの世界で、唯一無二の104人に会えた奇跡。僕たちは、本当に幸せ者です。これまでの日々を、みんなとともに過ごせてよかった。本当にありがとう。

まだまだ語りたいことはたくさんありますが、泣きすぎて壊れてしまう前に終わりにしておきましょう。

最後になりましたが、京都市立大淀中学校の今後の発展を願って、第49期生の答辞とさせていただきます。

令和6年3月15日 卒業生代表

## 退職・離任教職員の発表について

発表は、3月25日(月)午後1時に学校ホームページにて発表します。また、離任式は3月28日(木)10:30から行います。(生徒登校時間は10:15です)

## 来年度の教育計画について

今年度より、包括的生徒指導(MLA)を軸として、「幸せの花束カード」「SEL(社会性と情動の学習)」、地域の方々に御協力頂いた「成長への架け橋～大淀十二階～」を中心に取り組みました。

その結果、生徒対象の学校評価アンケート「学校生活は全般的に楽しく過ごせている」の質問では87%、「友達と仲良く過ごせている」の質問では94%の生徒から肯定的評価を得ることができました。しかしながら、「授業は楽しい」では61%、「授業はわかりやすい」では68%と課題の残る結果となりました。

この結果を踏まえて、来年度は、強みをさらに向上させ、弱みを改善するために、以下のような新しい取組を行います。

## ●章末(単元)テストの実施

年間5回行っていました定期テストを、年間3回に変更します。それに伴い、章末(単元)テストを実施します。例えば、2年生数学「連立方程式」の学習を終えたら、そのタイミングでテストを行います。目的は、章末(単元)ごとにテストを実施することで、生徒の学習定着を向上させるためです。テストの実施日は、教科ごとに異なりますので詳細な日程については、来年度に生徒を通じて説明します。

また、教員の授業力向上を目的に「協同学習」という授業形態を重点的に強化していきます。

## ●CStimeの実施

CSとは、「ちょこっと相談」の略です。従来、担任を中心に実施していた教育相談を、教職員全員を対象として行います。生徒が話したい教職員を、生徒自身が指名することによって、相談しやすい教職員に話せる時間を1人あたり20分設けます。年間12回、水曜日を中心に昼食終了後完全下校として、午後の時間に対象の生徒の教育相談を行います。目的は、生徒の悩みに共感することで、本来持っている生徒の力を引き出すためです。

令和5年度の「学校だより」はこれが最終号となります。一年間、本校の教育活動に賜りました温かいご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。至らぬこともあるかと存じますが、これからもご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で  
「京都はぐくみ憲章」を实践しましょう!

